



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月4日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 江崎勝久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 高橋真一
 ファイナンス部長 TEL 06-6477-8404
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	225,933	—	12,170	△24.8	13,072	△26.3	10,412	△16.9
2021年12月期第3四半期	252,480	△2.6	16,192	6.3	17,732	9.3	12,529	15.9

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 22,908百万円 (14.3%) 2021年12月期第3四半期 20,040百万円 (143.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	162.39	—
2021年12月期第3四半期	193.21	—

(注) 第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。このため、当該基準等を適用する前の前第3四半期連結累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。

なお、2021年12月期第3四半期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率は3.8%増であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	375,185	253,630	67.5
2021年12月期	356,745	241,177	67.5

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 253,197百万円 2021年12月期 240,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2022年12月期	—	40.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2022年12月期第2四半期期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	301,000	—	15,000	△22.3	16,000	△26.3	11,000	△18.6	170.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しているため、当該基準等を適用する前の2021年12月期の売上高に対する対前期増減率は記載しておりません。なお、上記連結業績予想の売上高は、2021年12月期に当該基準等を適用したと仮定して算定した売上高（292,557百万円）に対して2.9%の増収となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）上海江崎格力高開発食品有限公司、除外 1社 （社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	68,468,569株	2021年12月期	68,468,569株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	4,877,394株	2021年12月期	3,576,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	64,117,288株	2021年12月期3Q	64,848,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、経営成績及び各セグメントにおける比較につきましては、2021年1月1日から2021年9月30日までの9ヶ月間を「組替後前年同期」として算出した参考数値と比較しております。

当第3四半期連結累計期間（2022年1月1日～2022年9月30日）におけるわが国経済は、感染対策等により経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあり一部持ち直しの動きが見られた一方で、原材料価格上昇や金融資本市場の変動等を注視する必要があり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、存在意義（パーパス）である「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け価値創造を強化し、①健康価値の提供・お客様起点のバリューチェーンの構築、②注力領域への研究投資の集中、③海外事業の拡大に向け取り組みました。

その結果、売上面では、乳業部門は組替後前年同期を下回りましたが、菓子・食品部門、冷菓部門、食品原料部門、海外部門、健康事業を含むその他部門が組替後前年同期を上回ったため、当第3四半期連結累計期間の売上高は225,933百万円となり、組替後前年同期（217,677百万円）に比べ3.8%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、食品原料部門を除く全ての部門で上昇したため組替後前年同期に比べ1.8ポイント上昇しました。また、第2四半期に発生した中国上海でのロックダウンの影響で固定費負担増となりました。

その結果、営業利益は12,170百万円となり、組替後前年同期（16,192百万円）に比べ4,021百万円の減益となりました。経常利益は営業利益段階での減益等により、13,072百万円となり、組替後前年同期（17,732百万円）に比べ4,659百万円の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益等により10,412百万円となり、組替後前年同期（12,529百万円）に比べ2,117百万円の減益となりました。

各セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

・セグメント別の概況

(単位：百万円、%)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)
菓子・食品	46,547	46,554	7	0.0	2,868	3,183	315	11.0
冷菓	60,634	63,786	3,152	5.2	4,770	3,915	△854	△17.9
乳業	53,452	50,885	△2,566	△4.8	1,910	247	△1,663	△87.1
食品原料	7,923	8,322	398	5.0	797	971	174	21.9
海外	35,571	42,462	6,891	19.4	3,113	798	△2,315	△74.4
その他	13,548	13,922	373	2.8	992	651	△340	△34.3
調整	—	—	—	—	1,739	2,401	662	38.1
合計	217,677	225,933	8,256	3.8	16,192	12,170	△4,021	△24.8

(注) 調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用等があります。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

<菓子・食品部門>

売上面では、“神戸ローストショコラ” “アーモンドピーク” 等が組替後前年同期を下回りましたが、“プリッツ” “カレー職人” 等が組替後前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は46,554百万円となり、組替後前年同期（46,547百万円）に比べ0.0%の増収となりました。

利益面では、販売促進費及び広告宣伝費の減少等により、営業利益は3,183百万円となり、組替後前年同期（2,868百万円）に比べ315百万円の増益となりました。

<冷菓部門>

売上面では、“ジャイアントコーン” “アイスの実” 等が組替後前年同期を下回りましたが、“セブンティーンアイス” “パピコ”、卸売販売子会社の売上高等が組替後前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は63,786百万円となり、組替後前年同期(60,634百万円)に比べ5.2%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は3,915百万円となり、組替後前年同期(4,770百万円)に比べ854百万円の減益となりました。

<乳業部門>

売上面では、“プッチンプリン” “とろ〜りクリームon” 等は組替後前年同期を上回りましたが、“BifiXヨーグルト” “朝食りんごヨーグルト” 等が組替後前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は50,885百万円となり、組替後前年同期(53,452百万円)に比べ4.8%の減収となりました。

利益面では、減収及び売上原価率の上昇等により、営業利益は247百万円となり、組替後前年同期(1,910百万円)に比べ1,663百万円の減益となりました。

<食品原料部門>

売上面では、“A-グル” “E-スターチ” 等が組替後前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,322百万円となり、組替後前年同期(7,923百万円)に比べ5.0%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は971百万円となり、組替後前年同期(797百万円)に比べ174百万円の増益となりました。

<海外部門>

売上面では、地域別において、中国は第2四半期に発生した上海ロックダウンの影響により組替後前年同期を下回りましたが、ASEAN、米国等で販売が堅調に推移したことに加え、円安の影響により組替後前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は42,462百万円となり、組替後前年同期(35,571百万円)に比べ19.4%の増収となりました。

利益面では、中国上海でのロックダウン期間中の固定費負担等により、営業利益は798百万円となり、組替後前年同期(3,113百万円)に比べ2,315百万円の減益となりました。

<その他部門（健康事業含む）>

売上面では、“アーモンド効果” “オフィスグリコ” 等が組替後前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,922百万円となり、組替後前年同期(13,548百万円)に比べ2.8%の増収となりました。うち、健康事業においては、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,129百万円となり、組替後前年同期(10,026百万円)に比べ1.0%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は651百万円となり、組替後前年同期(992百万円)に比べ340百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は375,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,440百万円増加しました。流動資産は182,091百万円となり、3,465百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金等が減少しましたが、商品及び製品等が増加したことによるものです。固定資産は193,094百万円となり、14,975百万円増加しました。主な要因は、建設仮勘定、ソフトウェア仮勘定等が増加したことによるものです。

負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は121,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,988百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金、未払法人税等が増加したことによるものです。

純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は253,630百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,452百万円増加しました。主な要因は、剰余金の配当により4,816百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益10,412百万円を獲得したこと及び為替換算調整勘定が12,185百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は67.5%（前連結会計年度末の自己資本比率は67.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年8月4日の「2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で修正いたしました通期の連結業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	102,026	97,906
受取手形及び売掛金	42,898	40,691
有価証券	219	241
商品及び製品	15,000	19,134
仕掛品	838	967
原材料及び貯蔵品	12,316	13,136
その他	5,409	10,083
貸倒引当金	△83	△69
流動資産合計	178,626	182,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,638	38,446
機械装置及び運搬具（純額）	30,374	27,393
工具、器具及び備品（純額）	4,132	4,251
土地	15,969	16,139
リース資産（純額）	697	2,503
建設仮勘定	10,268	21,842
有形固定資産合計	101,080	110,576
無形固定資産		
ソフトウェア	4,340	4,644
ソフトウェア仮勘定	11,020	14,552
のれん	391	400
その他	214	190
無形固定資産合計	15,967	19,788
投資その他の資産		
投資有価証券	41,627	42,494
退職給付に係る資産	4,340	4,714
投資不動産（純額）	12,213	12,224
その他	3,223	3,334
貸倒引当金	△334	△39
投資その他の資産合計	61,071	62,729
固定資産合計	178,118	193,094
資産合計	356,745	375,185

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,373	33,586
短期借入金	232	—
未払費用	25,293	22,799
未払法人税等	3,207	4,012
返金負債	—	8,118
販売促進引当金	4,106	—
役員賞与引当金	67	—
株式給付引当金	21	—
その他	6,848	8,129
流動負債合計	72,150	76,646
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,044	30,028
長期借入金	77	—
退職給付に係る負債	1,299	1,461
繰延税金負債	7,006	6,483
その他	4,988	6,934
固定負債合計	43,416	44,908
負債合計	115,567	121,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	9,959	9,967
利益剰余金	214,795	219,497
自己株式	△9,057	△13,805
株主資本合計	223,470	223,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,277	10,908
繰延ヘッジ損益	253	1,063
為替換算調整勘定	4,758	16,943
退職給付に係る調整累計額	1,030	848
その他の包括利益累計額合計	17,320	29,763
非支配株主持分	386	432
純資産合計	241,177	253,630
負債純資産合計	356,745	375,185

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	252,480	225,933
売上原価	133,335	142,577
売上総利益	119,145	83,356
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	23,821	20,475
販売促進費	32,483	6,297
販売促進引当金繰入額	3,670	—
広告宣伝費	7,118	6,893
退職給付費用	353	205
その他	35,505	37,313
販売費及び一般管理費合計	102,952	71,185
営業利益	16,192	12,170
営業外収益		
受取利息	251	324
受取配当金	363	405
為替差益	202	—
補助金収入	320	423
不動産賃貸料	409	398
その他	1,277	922
営業外収益合計	2,823	2,473
営業外費用		
支払利息	23	62
為替差損	—	245
固定資産除却損	104	157
固定資産廃棄損	463	266
債務保証損失	—	123
その他	692	715
営業外費用合計	1,283	1,571
経常利益	17,732	13,072
特別利益		
固定資産売却益	758	—
投資有価証券売却益	—	3,519
特別利益合計	758	3,519
特別損失		
投資有価証券売却損	40	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	645
特別損失合計	40	645
税金等調整前四半期純利益	18,450	15,946
法人税、住民税及び事業税	6,194	6,339
法人税等調整額	△282	△844
法人税等合計	5,912	5,495
四半期純利益	12,538	10,450
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,529	10,412
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	38

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,958	△368
繰延ヘッジ損益	435	809
為替換算調整勘定	2,979	11,420
退職給付に係る調整額	△112	△182
持分法適用会社に対する持分相当額	240	779
その他の包括利益合計	7,502	12,458
四半期包括利益	20,040	22,908
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,020	22,855
非支配株主に係る四半期包括利益	20	53

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

自己株式の取得

当社は、2022年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,352,900株の取得を行いました。この取得により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が4,999百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2021年1月1日至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益及 び包括利益計算書 計上額(注)3
	菓子・ 食品	冷菓	乳業	食品 原料	海外	計				
売上高										
外部顧客への売上高	56,448	69,220	60,596	7,941	43,580	237,787	14,693	252,480	—	252,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	424	60	4	171	—	661	8,768	9,429	△9,429	—
計	56,873	69,281	60,600	8,112	43,580	238,448	23,462	261,910	△9,429	252,480
セグメント利益又は損失 (△)	2,868	4,770	1,910	797	3,113	13,460	992	14,452	1,739	16,192

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康事業、オフィスグリコ事業及びシステム保守開発事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額1,739百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,134百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等605百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2022年1月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益及 び包括利益計算書 計上額(注)3
	菓子・ 食品	冷菓	乳業	食品 原料	海外	計				
売上高										
外部顧客への売上高	46,554	63,786	50,885	8,322	42,462	212,011	13,922	225,933	—	225,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	496	50	5	173	—	725	8,685	9,410	△9,410	—
計	47,051	63,836	50,890	8,495	42,462	212,736	22,607	235,344	△9,410	225,933
セグメント利益又は損失 (△)	3,183	3,915	247	971	798	9,117	651	9,769	2,401	12,170

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康事業、オフィスグリコ事業及びシステム保守開発事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額2,401百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,300百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等1,100百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

決算短信補足説明資料

-22年12月期 第3四半期決算-

江崎グリコ株式会社
Ezaki Glico Co., Ltd.

連結経営成績 (百万円未満、百万元未満、百万米ドル未満は切り捨て)

(1)売上高・利益の概況

単位：百万円

	21/12期 (1月-9月) 組替後	22/12期 (1月-9月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	217,677	225,933	8,256	3.8
営業利益	16,192	12,170	▲ 4,021	-24.8
経常利益	17,732	13,072	▲ 4,659	-26.3
当期純利益	12,529	10,412	▲ 2,117	-16.9

(2)営業利益の状況

単位：百万円

	21/12期		22/12期	
	(1月-9月) 組替後	売上比(%)	(1月-9月) 実績	売上比(%)
売上高	217,677	100.0	225,933	100.0
売上原価	133,335	61.3	142,577	63.1
売上総利益	84,341	38.7	83,356	36.9
運賃保管料	18,821	8.6	20,475	9.1
販売促進費	6,349	2.9	6,297	2.8
広告費	7,118	3.3	6,893	3.1
人件費・厚生費	21,199	9.7	22,648	10.0
経費・償却費	14,660	6.7	14,869	6.6
販売費及び一般管理費	68,148	31.3	71,185	31.5
営業利益	16,192	7.4	12,170	5.4

営業利益の増減要因	対21/12期 (1月-9月)	
	内 国内	
①売上高増減による増減益	3,669	565
②販売品種構成の変化等による増減益	▲ 875	▲ 508
③原材料価格変動による増減益	▲ 4,495	▲ 3,112
④運賃保管料比率変動による増減益	▲ 940	475
⑤販売促進費・広告費増減による増減益	277	1,111
⑥一般管理費増減による増減益	▲ 1,657	▲ 237
合計	▲ 4,021	▲ 1,706

(3)セグメント別売上高の状況

* 以下のカテゴリー別売上高の数値については、管理会計上の集計数値です。

単位：百万円

セグメント	カテゴリー	21/12期 (1月-9月) 組替後	22/12期 (1月-9月) 実績	前年同期比	
				金額	増減率(%)
菓子・食品	チョコレート	22,976	21,851	▲ 1,124	-4.9
	ビスケット	13,813	14,448	634	4.6
	加工食品	8,862	9,283	421	4.8
	その他	894	971	76	8.5
	計	46,547	46,554	7	0.0
冷菓		60,634	63,786	3,152	5.2
乳業	発酵乳	11,352	9,370	▲ 1,981	-17.5
	牛乳・乳飲料	16,098	15,267	▲ 831	-5.2
	果汁・清涼飲料	15,307	15,058	▲ 249	-1.6
	洋生菓子	7,469	8,080	610	8.2
	ベビー育児	3,223	3,108	▲ 115	-3.6
計	53,452	50,885	▲ 2,566	-4.8	
食品原料		7,923	8,322	398	5.0
海外		35,571	42,462	6,891	19.4
その他	うち健康	10,026	10,129	102	1.0
	計	13,548	13,922	373	2.8
合計		217,677	225,933	8,256	3.8

(4)セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

セグメント	21/12期 (1月-9月) 組替後	22/12期 (1月-9月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
菓子・食品	2,868	3,183	315	11.0
うち 菓子	2,573	2,895	322	12.5
うち 食品	295	288	▲ 7	-2.4
冷菓	4,770	3,915	▲ 854	-17.9
乳業	1,910	247	▲ 1,663	-87.1
食品原料	797	971	174	21.9
海外	3,113	798	▲ 2,315	-74.4
その他	992	651	▲ 340	-34.3
調整	1,739	2,401	662	38.1
合 計	16,192	12,170	▲ 4,021	-24.8

(5)海外事業 - 地域別の売上高、営業利益

* 以下の数値については、管理会計上の数値であり連結財務諸表数値とは異なります。

また、地域区分についても連結財務諸表とは異なります。

◆中国

単位：百万円

	21/12期 (1月-9月) 組替後	22/12期 (1月-9月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	1,001	829	▲ 172	-17.2
営業利益	68	▲ 1	▲ 70	-

◆ASEAN

単位：百万米ドル

	21/12期 (1月-9月) 組替後	22/12期 (1月-9月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	71	86	15	20.9
営業利益	▲ 4	▲ 4	▲ 0	-

※21年12月期3Qの実績は、22年12月期3Qの平均レートで置き換えています。

◆米国

単位：百万米ドル

	21/12期 (1月-6月) 実績	22/12期 (1月-9月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	73	84	11	15.1
営業利益	26	18	▲ 7	-30.3

※米国については、連結ベースの数字です。